

消費者保護の推進

市民がトラブルに巻き込まれないよう、消費生活に関する正しい知識や情報の普及啓発を図るとともに、トラブルに遭った際への対応として、消費生活センターを配置するなど、相談体制の充実を図っています。

主な取り組み

- ◆ 特殊詐欺防止意識の啓発
- ◆ 消費生活相談体制の充実・整備
- ◆ 消費者取引の適正化



交通安全の推進

防犯体制の強化

警察や交通指導隊・防犯指導隊、交通安全協会・防犯協会等の関係団体と連携し、交通安全・防犯に対する意識の啓発に努めるとともに、カーブミラーやガードレール等の設備や修理を進め、市民の安全安心に努めています。

主な取り組み

- ◆ 交通安全意識・防犯意識の啓発
- ◆ 交通安全施設・防犯灯の整備
- ◆ 犯罪被害者へのケア



男女共同参画社会の実現

地域活動における男女共同参画や家庭生活との両立等に対する市民の認識を高めるため、研修機会の確保と各事業所への働きかけを行っています。

主な取り組み

- ◆ 市民への意識啓発
- ◆ 事業所における取り組み推進
- ◆ 市民参画、行政内部における女性の活用



行財政改革の推進

時代の変化に応じた行政運営のスリム化・効率化を進めつつ、市民の理解を深めるための情報提供や意識調査を進めています。

主な取り組み

- ◆ 行政運営のスリム化と効率化
- ◆ 財政運営の健全化
- ◆ 市職員の意識改革・能力向上
- ◆ 電子自治体システムの構築推進
- ◆ 広報・広聴の充実

北秋田に移住しました

移住の決断

〈東京都出身 織田直樹さん〉

織田さんが北秋田市に移住したのは平成26年。平成23年3月の東日本大震災による東京電力福島第一原子力発電所の事故により、当時、織田さんが住んでいた栃木県北部も空間放射線量が高い傾向にあり、子どもたちを無事に育てられるか不安がふくらみ、ご自身で健康に与える影響などを調べ始めました。

『子どもや孫世代の身体に異常が出たら絶対に後悔する』そう思った織田さんは、同じ理由で阿仁荒瀬に帰郷した知人から「秋田は放射線の心配もなく、空き家もある」と聞き、一度見てから考えようと、その地に足を運びました。

あらかじめ少子高齢化の深刻な地域ということは聞いていたものの、予想を上回り衝撃を受けたという織田さん。その一方で「子どもが多い我が家が、少しでも何かのお役に立てたら」という思いがありました。

住んでみた感想は

地域の皆さんが、私たち7人を歓迎してくれて、近所のおばあちゃんが「居てくれるだけで安心する」と喜んでくれたりと、移り住んできたばかりの私たちに信頼し、受け入れてくれたことに胸を打たれました。

食べ物は本当においしくて、豊かな農産物や山菜は安心して食べられますし、お世辞抜きで秋田のお米はおいしいです。そして何よりも、子どもたちが元気に外遊びをしている姿を見て、本当に移り住んで良かったと思っています。

移住定住の促進

北秋田市の認知度を高めるほか、移住者と地域のネットワークづくり、若者の定住に対する意識の向上を図っています。

主な取り組み

- ◆ 時代のニーズに即した「きたあきた暮らし」の魅力と移住施策の情報発信、移住希望者との接点づくり
- ◆ オールドメイド型の多彩な移住体験メニューの提供
- ◆ 多チャンネルの窓口の開設による移住相談及び移住施策の奨励と創造
- ◆ 移住者と地域のネットワークづくりの支援
- ◆ 若者の市内就職による定住の奨励
- ◆ 移住希望者の就職支援と地場産業の活性化
- ◆ 新しい人の流れの創出

